

地域創造とcommons教育システムを考える ～地域社会と学生・教員による「学びの共同体」の連携とは～

〈地(知)の拠点整備事業〉は3年目となり、折り返し地点に差し掛かっている。これまで本学では、地域課題に対する多様なアプローチの成果が積み重ねられてきたが、節目となる本年度は、本学独自の学生・教員による「学びの共同体」であるcommonsが、地域社会といかに向き合ってきたか、改めてその成果を広く共有すると同時に、地域の方々と共に見つめ直し、今後のあり方を考えていきたい。

日時：平成28年3月12日(土) 13時～

会場：奈良県立大学 地域交流棟2階中研修室(第1部)、
1号館201教室、301教室(第2部)

入場：無料・申込不要 定員100名

主催：奈良県立大学

第1部 パネルディスカッション「地域の未来と学習commonsのとりくみ」

- パネリスト講演 伊藤忠通(奈良県立大学 学長)
「まち・ひと・しごと創生総合戦略～人口減少時代の自治体経営～」
- パネリスト講演 山本あつし(クリエイティブ・イントロデューサー)
「地域をおもしろくする、ということ」
- パネリスト講演 前嶋文典(NPO 法人申請団体 日本無形文化継承機構 代表)
「『やまと』のローカルデザイン」
- コーディネーター 高津融男(奈良県立大学 准教授)

学生による地域活動の事例報告および自由討論

第2部 本学教員による地域志向教育研究発表



JR奈良駅(東口)・近鉄奈良駅(7番出口)より徒歩約10分
駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

